

国際協力機構（JICA）と覚書を締結

■ 総務課庶務係 ☎ (74) 3 3 3 1

パラグアイに町職員を派遣し、県内自治体初

町と国際協力機構（JICA）東京センター（田中 泉所長）は3月3日、町職員などのJICA海外協力隊派遣に関する覚書を締結しました。

この締結により、今年度パラグアイのイグアス市に職員1人を2年間JICA海外協力隊員として派遣する予定です。現地で深刻化するごみ問題解決のため環境教育に取り組むほか、日本の文化や伝統を紹介するなどの活躍が期待されます。



覚書を交わす田中所長（右）と茂原町長

紹介します

農業委員会委員



山田正昭さん
（秋畑・新任）

4月1日付けで、農業委員会委員に就任されました。任期は令和7年3月31日までです。

同委員は、議会の同意を得て町長が任命し、農地法に基づく売買・貸借の許可や決定などの業務を主に行います。

スクールバス運行エリアが拡大します

■ 教育課学校教育係 ☎ (64) 8 3 2 3

4月から国峰地区の一部を追加

現在、秋畑地区の小中学生と小幡地区の中学生を対象にスクールバス運行を実施しています。

町は、国峰地区からのスクールバス運行エリア拡大の要望を受け、検討委員会を立ち上げ、同地区の運行エリア拡大について検討を重ねました。その結果、町内でスクールバスに乗り込める児童の基準を明確化しました。

該当範囲は「①通学距離が原則3キロメートル以上で②通学路の実態により考慮すべき地区から通学している児童」とし、学校の統廃合によらない場合で、いずれの基準も満たしている児童をスクールバスの乗車該当とします。

今年からは、この基準を満たす国峰地区の一部をスクールバス運行エリアの対象とします。

なお、国峰地区は、該当児童が少ないため、町の公用車（普通車）を運行します。



国峰地区に導入される送迎車





環境保健協会からのお知らせ

vol.159

■ 問合せ先 住民課環境係 ☎64-8315



プラスチック容器包装指定袋(青) 価格改定のお知らせ

5月1日
から

温室効果ガスの削減に努め、可燃ごみとして出される容器包装プラスチックごみの削減を図るため、5月1日から**プラ容器包装指定袋(青)**の価格改定を行います。

分別を行い可燃ごみとして出さずに資源化することにより、焼却委託料を削減し町民の皆さんの負担軽減も期待されます。

町ホームページ→



プラスチック容器包装指定袋の
販売価格 (10枚入り・税込み)

袋のサイズ	現行	改定後
大 (45 ℓ)	400円	200円
中 (30 ℓ)	300円	150円
小 (15 ℓ)	150円	100円

「プラ容器包装指定袋」で出せるもの

プラマークの表示がある容器類

袋 類	菓子・パン・インスタント食品・冷凍食品の外袋・内袋 など
カップ類	カップ麺・プリン・ヨーグルト・卵パック などの容器
トレイ類	生鮮食品・コンビニ弁当・惣菜類のトレイ などの容器
ボトル類	ソース・食用油・シャンプー・ハンドクリーム などの容器
その他	ペットボトルに巻いてあるラベル・キャップ など

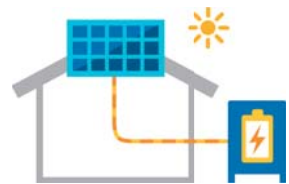
Check!

●必ずよく洗い汚れを落としてください。
汚れていると再資源化できません。



●ソースやマヨネーズなどのチューブ状で汚れが取れないものは、黄色い袋の「燃やせるごみ」で出してください。

住宅用太陽光発電設備蓄電池 設置費補助金制度 ご利用ください



町では地球温暖化対策、防災・減災対策の一環として太陽光エネルギーの利用を促進し、住宅用太陽光発電設備蓄電池を設置した人に、その費用の一部を補助します。

対象となるシステム

- ①住宅用太陽光発電設備蓄電池
- ②容量の合計が1kwh以上ある蓄電池
- ③未使用品であるもの
- ④令和5年4月1日以降に設置したもの

補助対象者

- ①町内に居住し、住宅などに該当設備を設置した人
- ②町税などの滞納がない人

補助金額

1 kwh当たり… 1万円(上限5万円)

申請方法

申請書に必要書類を添えて住民課環境係へ提出してください。

詳細は、ホームページをご確認ください→

